

GUNMA  
HOUSING  
AWARD  
2017

優秀賞  
ファミリー住宅賞

## 大きな輪の家

(おおきなわのいえ)

設計者 田村建築設計工房

施工者 大塚工務店 (専門工事会社代表)



## CONCEPT

### 設計主旨

たくさんの輪が重なるように、回遊性のある動線を多く作ることで動線が重なり、家族の動きをいくつも生み出し、日常の家事や遊びに家族全員がどこかで交わり加わることで、輪が広がり生活を楽しめる空間とした。回遊性のある動線は、各所に収納を設けることで、家事や日常の行動がスムーズとなるように心がけている。お子さんが走り回り、遊べる場所としても自然と使われる。将来建物が建ち並ぶと予想される敷地に、ガレージ、住宅、ポーチをつなぐ事により囲まれた庭を造り、適度なプライバシーの確保とお子さんが安全に遊べる場所をつくるように、一体的に計画した。また、濡れ縁を設けることにより室内から中庭への広がりも期待。濡れ縁は施主希望のスイカを食べたり花火をしたり、ガーデニングや家庭菜園の合間の休憩場所などに使用できる。濡れ縁、中庭のような中間領域があることで、日々の生活に彩りが加わり、生活に幅を持たせることができる。内外の塗装工事や多くの施主支給品購入など、工事に積極的に参加することで完成

品の家としてだけでなく、家づくり全体を楽しんでもらう事を心がけている。沖縄が好きということで、琉球ガラスを手洗い鉢や建具の小窓に採用し、加工した琉球ガラス片を洗い出し仕上げに混ぜ込んだり、濡れ縁下の土間コンクリートにガラス片を施主家族で埋める作業をしたりした。その他、ガスコンロや食洗器、エアコンやキッチンや洗面カウンターなども施主が直接購入出来るものはしていただいた。ご両親も工事に参加し、家族と親戚の輪が広がると共に、現場での作業を通じて各工事の職人さんとの輪が広がることを期待している。家づくりへ参加することで家に愛着が生まれ、メンテナンスや保守管理への敷居が下がり、大切に住まわれることを期待している。木部塗装はメンテナンスが必要のため、作業を経験しておくことと気軽に塗り替えが出来る。愛着を持つことと、メンテナンスをしていくことで長寿命の家につながる。



平面図



## REVIEW

### 講評

前橋市郊外に建つ若い夫婦と小さなお子さん二人の家。施主の好みや要望が十分に反映されており、また施主自ら備品を支給したり工事に参加したりと、今後も長いスパンで愛着をもって家に住まうことだろう。

敷地は南の道路に面して奥行きがあり、道路側にガレージの棟、北側に住まいの棟を寄せ、この二つの棟を西側の屋根付きポーチでつないでいる。建物に囲まれた中庭は適度なプライバシーもあり、安心して子どもたちも遊ぶことができ、リラクスのできる空間となっている。

なんといってもプランの最大の特徴は行き止まりのない回遊できる動線である。居間→寝室→洗面→クローゼット→居間という大きな輪、厨房→食堂→パントリー→厨房という一連の動線など、他にもいくつもの動線の輪が掛けるのが驚きである。使い勝手のよい家事の動線であるとともに子どもたちが楽しく遊ぶ線が想像できる。畳コーナーには学習用のカウンター、吹き抜けに梯子や登り梯、雲梯という仕掛けが仕込まれて「ファミリー住宅賞」の名にふさわしい楽しい家である。

